

水

僕は水はとても大切な物だと思います。僕は生きていくのに水は必要不可欠で、水によつて体の各細胞まで酸素や栄養が運ばれたり、発汗により体温調節がされるなどと水に生かされています。

僕は水と言われてイメージするのは透き通ったきれいな水です。日本では水道の蛇口を捻れば透明のきれいな水が出てきますが、世界ではきれいな水がなかなか手に入らず、生きていくのが困難な所で暮らしている人がいることから水の大切さが感じられます。この大切な水は地球を循環していて、その水循環の一過程で水は川になります。僕の学校では明日香学という授業があり、僕は3人のメンバーと共に「水性生物から分かる明日香の川のきれいさと生物の種類の多さの関係」をテーマとして明日香村のいくつかの川

について調査をしてきました。

まだ調査の途中ではありますが、今まで調べた水性生物からそれぞれの川のきれいさを調べました。データが少なく確かではないですが、きれいな川の方が種類の数が多く、また捕れた生物の数も多かったです。逆に汚い川では生物の種類も数も少なかったです。このことから、やはり生物が生きていくにはきれいな水が必要だと分かりました。

僕達がこれからも生きていくには今あるきれいな水の維持とともに、きれいな水を増やす必要があると思います。なぜそう思うかというと、ただでさえ今でも水に困っている人がいる中で、これから世界の人口は今よりさらに多くなると予想されているからです。また、予想されると予想されているからです。アジアに日本が属しているからでもあります。

明日香村立聖徳中学校 三年

松本 悠聖

だから汚れている川を少しでもきれいにし、きれいな水を増やすことが大切だと思います。ですが、そう簡単には水をきれいにはできないと思います。そこで僕は水について調べていて気づいたことがあります。なにかという、人一人が一日生きていくのに必要とする水の量は約二リットルと言われています。ですが、日本人一人が一日に消費する水の量は生きていくのに必要な水の量の約百五十倍である約三百リットルもあります。

僕はこのことから、水を増やすだけでなく、日本人が水の節約をすれば年々減少しつつある水資源量に伴って増えている様々な形による水の輸入量が減り、その分余った水が水を必要とする人にも行き渡り易くなり、多くの人がこれからも生きることができるようにはないかと考えました。

今回の作文を書いてきて、水の大切さを改めて感じ、どうしていけばいいのか分かった。なので、まずは少しずつでもいいので水の節約に努めていきたいです。